

2025年度 自己点検・自己評価報告書

学校法人 愛自学園

専門
学校

日産愛媛自動車大学校

2026年 5月 31日 作成

目次

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

- 【1-1】 理念・目的・育成人材像は定められているか
- 【1-2】 学校における職業教育の特色はなにか
- 【1-3】 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 【1-4】 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。

基準2 学校運営

- 【2-4】 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 【2-5】 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 【2-6】 運営組織や意思決定機能は、規則等により明確化されているか、また、有効に機能しているか。
- 【2-7】 人事・給与に関する制度は整備されているか
- 【2-8】 教務・財務等の組織整備など、意思決定システムは整備されているか
- 【2-9】 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 【2-10】 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 【2-11】 情報システム化等による業務の効率化が図れているか

基準3 教育活動

- 【3-1】（目標の設定等）教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 【3-2】（目標の設定等）教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 【3-3】（教育方法・評価等）学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- 【3-4】（教育方法、評価等）キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。
- 【3-5】（教育方法、評価等）関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われている
- 【3-6】（教育方法、評価等）関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習棟）が体系的に位置づけられている。
- 【3-7】（授業方法、評価等）授業評価の実施・評価体制はあるか
- 【3-8】（授業方法、評価等）職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 【3-9】（授業方法、評価等）成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 【3-10】（資格試験）資格取得の指導体制、カリキュラムの中の体系的な位置づけはあるか
- 【3-11】（教職員）人材育成目標の達成に向け授業を行なうことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 【3-12】（教職員）関連分野における業界等との連携において、優れた教員（本務・兼務を含む）を確保しているか
- 【3-13】（教職員）関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。
- 【3-14】（教職員）職員の能力開発のための研修等が行われているか

基準4 教育成果

- 【4-1】就職率の向上が図られているか
- 【4-2】資格取得率の向上が図られているか
- 【4-3】退学率の低減が図られているか
- 【4-4】卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 【4-5】卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

基準5 学生支援

- 【5-1】進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 【5-2】学生相談に関する体制は整備されているか
- 【5-3】学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 【5-4】学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 【5-5】課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 【5-6】学生寮、学生の生活環境への支援は行われているか
- 【5-7】保護者と適切に連携しているか
- 【5-8】卒業生への支援体制はあるか
- 【5-9】社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 【5-10】高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか
- 【5-11】関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか

基準6 教育環境

- 【6-1】施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 【6-2】学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 【6-3】防災に関する体制は整備されているか

基準7 学生の募集と受入れ

- 【7-1】高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか
- 【7-2】学生募集活動は、適正に行われているか
- 【7-3】学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
- 【7-4】入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか
- 【7-5】学納金は妥当なものとなっているか

基準8 財務

- 【8-1】中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 【8-2】予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 【8-3】財務について会計監査が適正におこなわれているか
- 【8-4】財務情報公開の体制整備はできているか

基準9 法令等の遵守

- 【9-1】法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 【9-2】個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 【9-3】自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 【9-4】自己評価結果を公表しているか

基準10 社会貢献

- 【10-1】学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 【10-2】学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 【10-3】地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育理念、目的、育成人材像は、日産学園全体として【教育理念】【教育方針】にうたっており、それに従った教育を展開している。 メーカー校として、変化する業界のニーズにいち早く応えていく為、常に将来を見越した人材の育成構想を描いている。	【教育理念】 つねに時代をリードする人間力・技術力を兼ね備えた自動車エンジニアを育成し、自動車業界および社会の発展に貢献する。 【教育方針】 1. 幅広い自動車技術とプロを目指すための実践力を習得させる。 2. お客様に感謝されることを喜びとするマインドとコミュニケーション力を育成する。 3. 社会人として愛され信頼される豊かな人間性と、たゆまぬ向上心を育む。 4. それらを「クルマの持つ魅力・可能性・人との係り」の学びを通して実現する。

【1-1】 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行なう理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	4	明確に定められている	なし	学校案内パンフレット ホームページ
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方策を持っているか	4	教育方針に則り、具体的なカリキュラム編成を検討、あるいは、学生指導の方針・方策をシラバスに反映している。	なし	
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	4	不定期ではあるが、環境をみつつ見直しを実施している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
理念・目的・育成人材像などは、明確に定められている。 今後も、環境変化に合わせて定期的に見直していく。	

【1-2】 学校における職業教育の特色はなにか				
-------------------------	--	--	--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-1 学校の特色として挙げられるものがあるか	4	メーカー校として、メーカー(日産)が提供している整備技術や、お客さまへの対応技術を、カリキュラムや学生指導におこみ、整備業界にふさわしい人財の育成に努めている。 また、自動車に対する興味換気とチームスピリットを学ぶ為に、レース活動に参画している。	なし	学校案内パンフレット ホームページ

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
メーカー(日産)が販売会社に提供している、業界先端の整備技術・ノウハウ、また、お客さまへの対応技術・ノウハウをベースに、カリキュラム作成や学生指導を行うことで、整備業界をリードしていくにふさわしい人財の育成に努めている。	メーカーブランドにふさわしい、社会人としての行動ができることを体得させていく事に重きを置いている。

【1-3】 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか				
----------------------------------	--	--	--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-1 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期構想を抱いているか	4	「国際自動車整備科」と併せて、JLPT2級取得の優秀な留学生については、日本語学校を経由することなく直接整備科に入学させることで、優秀な人材を育成することができている。	留学生人材の確保においては、経費支弁状況やアルバイト時間などの制約があるため、入学判定時に慎重に対応する必要がある。	中期計画

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
日本語学校からの留学生、直接入学の留学生人材、技能実習生からのビザ切り替えによる入学など、優秀な留学生人材の確保と併せて、募集グループの尽力により日本人についても安定した入学が見込める状態となってきた。	留学生やリカレント生など、募集ターゲットの多様化に合わせて、新しい教育を提供していきたい。

【1-4】 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。				
--	--	--	--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-4-1 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	4	周知徹底を図っている。課題であった新任教員への浸透については、日産他校をベンチマークし、研修を立ち上げた。理念・教育方針は職員室に掲示。学校外へは、学校案内、ホームページなどで公表している)	なし	学校案内パンフレット ホームページ

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
周知徹底を図っている。更に、学生には折に触れて教育方針の浸透を図る。新任教員に向けては、販売会社との人財交流制度を立ち上げ、相互に人財育成を実施できている。 (理念・教育方針は職員室に掲示。学校外へは、学校案内、ホームページなどで公表している)	今後も教育制度の振り返りと玉成を図るとともに、計画的な人財確保を図りたい。

基準2 学校運営

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
・運営方針・事業計画は、中期、年度と策定され、教職員に展開・周知される。 ・組織は、体系立てて構成されており、運営するための仕組みは、“意思決定の規定” “人事規定・賃金規定” “コンプライアンス規定” 等、既に整備され運用されている。 一方、時代・環境の変化から、採用、人事、評価等の仕組みの見直しも求められており、順次対応していく。 ・業務の効率化のため、情報システムは既に導入されているが、新しいツールの登場とともに、今後、更に改善を進めていく。特に、学生に対する教育情報などの提供が挙げられる。	

【2-4】 目的等に沿った運営方針が策定されているか	
----------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	4	・理念、教育方針のもとに、中期、年度の計画・方針を明確に定め、展開している。	なし	パンフレット(理念、教育方針) 中期計画 年度活動方針書
2-4-2 学校の運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	年初、活動方針と重点方策を展開し、それを基に、上長が具体的な活動方策を策定している。	なし	年度活動方針書
2-4-3 学校の運営方針を元に、各種諸規程が整理されているか	4	・基本的な学校の考え方に沿って、各諸規定は設定されている。就業規則についても社会情勢に合わせて見直して運用している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校の目的、目標に基づいた学校運営方針は明確に定められている。 それは各教職員に伝えられ、活動の軸になっている。 KPIを明確にし、達成度により賞与額が変動する業績評価を継続している。これにより、学校の目的、目標がよりダイレクトに伝わる体制となっている。	学校目標と個人目標の関連性が明確である。

【2-5】 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	
-----------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-1 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	4	中期事業計画と年度事業計画を定めている。昨年度から年計は各領域の上長が策定することとし、意識付けと関与度の向上を図っており、方策の精度が向上している。	なし	中期事業計画・年度事業計画
2-5-2 学校は事業計画に沿って運営されているか	4	事業計画に沿って、月次で達成状況を振り返り、目標に対しても高い達成率を上げている。	なし	学校目標達成状況

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
中期事業計画をベースに、年度事業計画(活動計画・予算)を策定している。	活動方策だけでなく、予実算の振り返りを定期的に行えるよう、事務局の体制強化を行い度い。

【2-6】 運営組織や意思決定機能は、規則等により明確化されているか、また、有効に機能しているか。	
---	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-1 運営組織図はあるか	4	組織図がある	なし	組織図
2-6-2 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	4	毎年、学校の目的、目標達成のため、組織編成を見直している。また、月次の上長会議にて、学校の重要課題を共有化し、意思決定している。また、評価者研修やマネジメント研修が奏功し、職制のマネジメント力が向上しつつある。	なし	組織図
2-6-3 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4	職務分掌は明確になっている。(組織図、業務分担表)	なし	組織図・業務分担表

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校としては、組織図で各権限基準を示している。また、各教職員の職務については、業務分担表が示しており、各々有効に機能している。学園本部と当校の役割分担も実効性、効率を考え、必要に応じて見直しつつ運用している。	毎年のように行われる法改正にも適応し運用できている。

【2-7】 人事・給与に関する制度は整備されているか	
----------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-1 学校運営に必要な人材の確保と育成がおこなわれているか	4	中期、年度の計画を通じ、優秀な教員人材の確保が課題である。販社からの出向により一定数は確保できているが、計画的な自校での採用もできている。育成については、従来からの新任教員教育を継続している。	なし	
2-7-2 人事考課制度は整備されているか	4	組織の活性化のため、新人事制度として業績評価を導入、2020年度から本格運用を開始した。	なし	
2-7-3 昇進・昇格制度は整備されているか	4	2019年度から、新人事制度として、昇進・昇格の透明性・公平性を高めるべく、プロセスとルールを整備、2020年度は2年目を迎えて、新制度への理解が進んだ。	なし	
2-7-4 賃金制度は整備されているか	4	2020年度は、新人事制度導入3年目にあたり、職制の意欲向上の為、職制手当の増額や業績評価への日産校評価結果の反映を行った。	なし	
2-7-5 採用制度は整備されているか	4	グループ企業との間で人材交流スキームを継続中。実務経験があり、人材育成に興味のある優秀人材を当校に出向させ、教員経験を積んで現場に還流させている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
人事制度が確立され、効果的な運用がなされている。	

【2-8】 教務・財務等の組織整備など、意思決定システムは整備されているか	
---------------------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-1 意思決定システムは確立されているか	4	・学校内での職制会議・職員会議・朝礼・終礼を中心に確立している。	なし	
2-8-2 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されている	4	・職制会議及び職員会議が定例化され、正しい情報共有と適切な意思決定プロセスが確立されている。	なし	
3-8-3 意思決定の階層・権限等は明確か	4	・意思決定の階層・権限は各領域ごとに明確になっている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校としての意思決定のシステムはほぼ確立している。	学校という特殊な環境から、学生に対する一次的な判断は、各担任が下す場合が多い。従って、教職員と学校の認識が一致していることが重要であり、その機会を設定したものの、質の向上が必要である。

【2-9】 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	
---------------------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-1 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	コンプライアンスへの社会の意識が大きく変わる中で、以下のような各領域で教職員・学生に対応している。 ・道交法順守、違法改造の徹底防止・個人情報の保護等の考え方を織り込んで、学則・従業員規則を変更。ハラスメント教育に代表される個別研修を実施している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
自動車業界として、また、地域に根差す学校として、教職員、及び、多くの学生に対して、コンプライアンスには適切な対応をするよう、啓蒙、指導を含む活動を行っている。	

【2-10】 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	
---------------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-10-1 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	学則、学NAVI(学生の行動基準)は学生に紙面にて公開すると共にHPでも公開している。またシラバスも公開している。高等教育の修学支援制度の適格校となるにあたって、諸資料の整備を行い、常にアップデートしている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育活動に関する情報は、校内の公開が主であるが、HPでの公開も進めている。	

【2-11】 情報システム化等による業務の効率化が図れているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-11-1 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	4	・学生データを管理する基幹システムを整えている。 ・サーバーの利用で、効率的な情報共有を可能にしている。 ・募集/教務/就職/学費管理システムを導入し、効率的な運用が行われている	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
日産校共通で、スクールリーダーという学校事業の基幹データシステムを導入し、学生に関する情報を一元的に管理することができるようになった。その他、日産校間での共通サーバでの情報共有により、教職員の業務処理の効率化が進んでいる。				

基準3 教育活動

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育理念・方針に沿って教育課程は編成されている。具体的には、国家資格や、業界のニーズを踏まえた、具体的必要要件を積み上げ、カリキュラムを組み上げている。 年々、現在の実施状況の評価や、国家資格の要件、企業ニーズの変化により授業を見直している。より実践的な知識・技術を習得するために、キャリア教育の充実や、インターンシップなどの推進にも力を入れている。しかし、学生の社会人としてのモチベーションの醸成はまだ十分とは言えず、今後の課題である。 教育の要となる教員の教育も、専門技術、教授力の両面での強化を図ろうとしている。しかし、まだ、教授力の強化が十分ではなく、今後、更に研修制度やOJTの充実を検討したい。	

【3-1】(目標の設定等)教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	
--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-1 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	理念、教育方針に沿って教育課程の編成・実施方針を策定している。教育の質の向上を図るために、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーの3ポリシーを整理し、それに適った方策を実施している。主点は、学生の自主性、主体性の育成である。	なし	中期計画 年度計画 PROG結果

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
理念、教育方針に沿って教育課程の編成・実施方針を策定しており、国家資格の合格率や就職率から適切な水準にあると考えているが、他校と比較することで更なるレベルアップに努めたい。	

【3-2】(目標の設定等)教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	
---	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-2教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	年次に応じた到達レベルや学習時間確保を明確にしている。日産5校でスタンダードを策定しているが、当校の学生実態に合わせ、カスタマイズをしている。	なし	授業ベース 実習STD 就職STD

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育理念、育成人材像や業界ニーズを、学科は「授業ベース」、実習は「実習STD」、職業教育は「就職STD」の形で、年次に応じた到達レベルや学習時間確保を明確にしており、適切な水準にあると考えているが、環境変化に合わせ更なるレベルアップに努めたい。	法改正に伴う新教科書導入、国家試験時期の早期化により、授業ベースを見直し対応させてきた。また、単位制導入に向けてカリキュラムの見直しも実施。就職STDについても時期の早期化に合わせて修正済。

【3-3】（教育方法・評価等）学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-3-1 カリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	絶えず他校をベンチマークしながら、内容を吟味し、体系的に編成しているが、実習車の入れ替えによる最新技術のカリキュラム更新が必要。	なし	学習シート
3-3-2 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	明確になっている。骨子の作成やSTDは企画支援部が策定し、具体的カリキュラムの作成は教務、教科リーダーが実情に合わせて一定の範囲内で作り変えている。	なし	
3-3-3 カリキュラムを定期的に見直しているか	4	教科書改訂や企業のニーズなどを定期的にチェックし、改定すべき点を確認し、織り込んでいる。	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
学科、実習いずれも学生が修業年限で到達レベルに達するために理解しやすいよう、教える順番を綿密に検討し、内容も判り易さを考えて吟味し、体系的に編成している。新資格制度に伴う教科書改訂や企業のニーズなどをチェックして、それを改定している。			新技術についての学習機会として、日産自動車や日産販売会社の協力により特別教育を実施している。	

【3-4】(教育方法、評価等) キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-4-1 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。	4	急速に進む電動化・知能化により、教科書にも先進安全技術について追加された。これに対応すべく、メーカーや販売会社と連携して先進技術の特別授業の内容も充実させた。	なし	法定外教科
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
常に業界・就職先(メーカー・販社)のニーズに基づきカリキュラムの開発・改定を行い、法定外教科(産学連携授業)であるが、必須教科として時間を確保し、全員に履修させている				

【3-5】(教育方法、評価等) 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われている				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-5-1 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われている	3	業界(販社、メーカー)の意見、動向を見ながら、カリキュラムの内容に反映している。	新資格制度の導入に伴い、他校と連携してカリキュラムの見直しを進めているが、メーカーの技術支援を基に効果的な反映がなされている。	販社アンケート 情報交換会 (日産自動車)
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
業界(販社、メーカー)の意見、動向を、定期的なアンケートや情報交換会で確認し、カリキュラムの内容に反映している。				
【3-6】(教育方法、評価等) 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられている。				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-6-1 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられている。	4	企業の求める基本的な技術能力要件を授業に織り込み、実践的な教育がなされている。	なし	4年インターン TS3級技能要件 TS2級技能要件
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
企業の求める基本的な技術能力要件を1, 2年次、3, 4年次それぞれのレベルに応じて授業に織り込んでいる。修得評価は販売会社アンケートで把握し改善に努めている。				

【3-7】（授業方法、評価等）授業評価の実施・評価体制はあるか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-7-1 学生による授業評価を実施しているか	3	教科ごとに学生アンケートを実施している。	なし	
3-7-2 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	4	授業聴講と結果のフィードバックを推進している。	なし	
5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
学校での授業における、学生の評価(授業アンケート)、管理監督者などの評価(授業聴講)を実施することで評価体制が確立されている。			なし	

【3-8】（授業方法、評価等）職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-8-1 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	職業教育に対し、外部関係者(企業)と連携(評価を受けつつ、相談)している。	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
職業教育に対し、外部関係者(企業)と連携(評価を受けつつ、相談)している。				

【3-9】(授業方法、評価等) 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-9-1 成績評価・単位認定、進級・卒業基準は明確になっているか	4	成績評価・認定、その先の進級、卒業の基準も明確になっている。	なし	学則・学ナビ
3-9-2 他の高等教育機関との関係の単位互換に関する明確な基準があるか	3	専門学校の単位制導入に合わせ、現在準備を進めている。	他の高等教育機関との連携を模索中。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
成績評価・認定、その先の進級、卒業の基準も明確になっている。	

【3-10】(資格試験) 資格取得の指導体制、カリキュラムの中の体系的な位置づけはあるか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	4	すべての法定教科は目標とする資格(国家一級、国家二級)のためのものであり、年間カリキュラムに織り込んで明確に定められている。直前の国家資格対策もカリキュラムに織り込んでいる。	なし	年間計画 統一試験 特訓計画
3-10-2 目標となる資格をサポートできる教育内容になっているか	3	2年間、4年間の中で、上記カリキュラムで履修した内容の理解度確認を定期的に統一試験として実施。併せて直前の国家試験対策でサポートしている。	学生の多様性がひろがる中で、多様性の理解とそれぞれに対応したサポートを行う指導力の修得が課題であり、研修が必要であると認識している。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
目標とする資格(国家一級、国家二級)取得に向け、知識習得に必要な時間は、年間カリキュラムに織り込んで明確に定められている。その中には、直前の国家資格対策も含まれている。	

【3-11】（教職員） 人材育成目標の達成に向け授業を行なうことができる要件を備えた教員を確保しているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-1 学科の育成目標に向け授業を行なうことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	3	教員の確保については、グループ会社との間で人材交流スキームを確立しており、人材育成に興味を持ちかつ教員資質にポテンシャルのある人材の出自など、実績があがっている。	若手人材については現在販売会社で研修中であるが、教員の年齢上昇を踏まえて今後も継続して確保する必要がある。	
3-151-2 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	4	教員全員が整備士資格の有資格者であり、販売会社での実務経験を有していることは当校の強味のひとつである。	なし	
3-11-3 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	3	国家資格と受講した研修により、専門性を把握。授業への反映は、授業を通じて行っている。	整備という専門分野に関する資格や研修経験は豊富であるが、最先端技術等絶えざる勉強が必要である。	
3-11-4 教員の専門性を向上させる研修を行なっているか	3	外部研修（専門技術及び教授力）、及び、担当科目を広げていく事で、各自の専門性の向上を目指している。	研修の場を増やす、研修に参加しやすい環境を整えるなど、更なる工夫が必要である。	
3-11-5 教員の教授力（インストラクションスキル）を適宜把握し、評価しているか	3	管理監督者の授業聴講を通じて、評価するようにしている。	教授力を客観的に評価するしくみと、向上のための育成システムを体系化する必要がある。	
3-11-6 教員の教授力（インストラクションスキル）を向上させる研修を行っているか	3	管理監督者の評価を基に、外部主催を含め適切な研修を選んで受講するようにしている。	外部研修への参加も更に促進したい。加えて、教科グループや、ベテラン教員を活用した研修を検討したい。	
3-11-7 教員間（非常勤講師も含めて）で適切に協業しているか	4	留学生向けの日本語補講に対応するため、日本語教員の資格取得を推進している。	現在1名の教員が取得済となっている。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA			当てはまらない	
点検中項目総括			特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
人材育成の為に、必要な資格、一定の専門性を有した教員を常勤で確保しており、その専門性や、教授力向上の為に力量の把握や、教育にも力を入れている。但し、教員の一級自動車整備士取得率に関しては、人材の入れ替わりもあり思うように改善が進んでいない。			外国人教員の導入及び日本語教員資格取得により、増加の進む留学生対応に取り組んでいる。	

【3-12】(教職員)関連分野における業界等との連携において、優れた教員(本務・兼務を含む)を確保しているか	
--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-1 関連分野における業界等との連携において、優れた教員(本務・兼務を含む)を確保しているか	4	企業(販社)からの出向者に授業を担当してもらい、最新かつ、実践的な技術指導を行っている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
企業(販社)からの出向者に授業を担当してもらい、最新情報での実践的な技術指導を行っている。	

【3-13】(教職員) 関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。	
--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-1関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。	3	メーカーの主催する新技術の習得や、専門学校協会の主催する指導力育成研修での資質向上などに取り組んでいる。	特に指導力育成分野での教育の更なる充実が必要。	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
メーカーの主催する技術研修による新技術の習得、専門学校協会の主催する指導力育成研修での資質向上などに取り組んでいる。 今後、更に指導力育成を中心に資質向上の取り組みの強化を検討したい。	

【3-14】(教職員) 職員の能力開発のための研修等が行われているか	
------------------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-1 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	個人別キャリアプラン制度を導入し、強み、弱みを分析した上で、教員同様、コーチング、プレゼンテーション研修、改善スキル研修など実施している。	なし	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教員同様、コーチング、プレゼンテーション、改善スキル研修など実施している。	

基準4 教育成果

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
退学率は、多様化する学生構成に適応する指導力を発揮することで、高い在籍率につなげている。その中で、教員の学生指導力の更なる向上を行っていく必要がある。 就職率は、就職担当者、教育部が連携して就職活動を展開することで、斡旋希望者100%の実績を継続している。 資格取得については、高い合格率を維持する体制が整ってきた。	

【4-1】就職率の向上が図られているか	
---------------------	--

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-1-1 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	4	就職(求職)対象者全員に対して、就職を斡旋し、毎年100%の実績を上げている。	なし	
4-1-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	就職対象者全員の、受験状況ならびに内定までの状況をリアルタイムに把握している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職のあっせんを希望している学生に対しては、例年100%の就職斡旋を行っている。	

【4-2】 資格取得率の向上が図られているか	
------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-2-1 資格取得率の向上が図られているか	4	二級整備士資格は毎年100%の取得に向けて、国家一級整備士資格は90%以上の取得に向けて対策を立てている。	なし	
4-2-2 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	教育部の目標に織り込んでおり、実績は明確に把握している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
高い合格率を維持する大生が機能している。	

【4-3】 退学率の低減が図られているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-3-1 退学率の低減が図られているか	4	退学率は、多様化する学生構成に適応する指導力を発揮することで、高い在籍率につなげている。	多様化が進み新しい課題が例年のように発生している。	
4-3-2 入学数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	その中で、教員の学生指導力の更なる向上を行っていく必要がある。	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
入学前の情報把握から、入学後のサポートまでを包括的に行うことで、高い在籍率につなげている。				

【4-4】 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-4-1 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	卒業生アンケート(就職先と卒業生の声)や、企業訪問時(インターンシップ訪問など)、就職先の技術大会への選抜の状況などを通じて把握している。	なし	販売会社アンケート
4-4-2 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	・社内技術大会において、高い評価を得ている。	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
卒業生アンケート(就職先と卒業生の声)で卒業生全体の状況を、企業への就職活動時に卒業生の個々の状況・評価を把握している。				

【4-5】 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-5-1 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業生アンケートや、企業訪問などを通じて得られたキャリア形成の為に必要な教育活動の情報は、カリキュラムに活用している。	知識・技術的な課題よりも、社会人・企業人としての基礎力の充実が求められており、授業への落とし込みが必要。また、企業ごとの定着率データも取得したい。	

基準5 学生支援

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
進路・就職に関する支援体制は、全体として整備されている。 クラス担任、教育部が連携し、各ステップで具体的活動の指導や相談にあたっている。 学生の健康面での支援では、近年メンタル面でのサポートの必要性が言われており、当校でもカウンセリングの先生の支援を得て対応している。 学生寮では、寮監が保護者に代わり、手厚い対応を行っている。	

【5-1】 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-1-1 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	学園本部が、系列校の就職情報の一括管理を行っており、そのもとで、当校内の事務局職員と教員とが連携し、円滑に行われている。(求人情報の取得から、教員・学生への展開は円滑であり。企業別・個人別の進捗状況はシステム上で確認できる)	なし	・就職テキスト
5-1-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	学内にて企業ガイダンスを実施、企業訪問を推奨し、会社説明会にも参加させている。	なし	
5-1-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	クラス担任との学生個別面談(就職先企業選択など)・事務局職員との個別面談(就職先企業の情報確認など)を実施し、キャリアアドバイスをを行っている。	なし	
5-1-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	4	クラス担任・事務局職員・外部講師により履歴書の書き方から面接試験等のトレーニングまで実施している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
進路・就職に関する支援体制は、整備されていると考えている。 各々の判断時期を含めたスケジュールを学生に展開し、各ステップで具体的活動の支援を行っている。 その間での相談事は随時、クラス担任を主に事務局も連携してサポートしている。	

【5-2】 学生相談に関する体制は整備されているか				
---------------------------	--	--	--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-2-1 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	各正副クラス担任が、学校側からの定期・不定期の学生面談を行っている。また、学生の相談にも応じている。		
5-2-2 学生から相談に応じる専用カウンセラーがいるか	2	必要に応じカウンセラーの先生に対応をお願いしており、その結果は担任へフィードバックされる。	学生の多様性が広がる中で、より気軽にカウンセラーを活用する風土を醸成したい。	
5-2-3 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	4	担任の他、留学生担当や募集グループで、学習面だけでなく生活支援についても対応している。	教育部、事務局、募集グループでそれぞれ分担してサポートができています。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
校内の相談窓口は整備されているものの、学外の窓口活用に不安がある。	なし

【5-3】 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか				
-------------------------------	--	--	--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-3-1 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能されているか	4	・学生支援機構の奨学金制度、学内の奨学金制度、減免制度を設けている。また、各家庭の事情に応じた分納対応などを行っている。留学生にもN2減免や公的奨学金制度の推奨など、きめこまかに支援する体制が確立している。	なし	募集要項(奨学金)
5-3-2 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	4	・学費の分納制度がある。 ・月次で未納状況を把握し、滞納者に対しても、支払い計画の提出により納期を延期する等、個別事情を勘案した対応をしている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生の経済的支援は、全体的に整備されている。 借り上げ寮制度や分納制度の整備により、留学生の就学支援に努めている。	未納なし

【5-4】 学生の健康管理を担う組織体制はあるか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-4-1 定期的に健康診断を行うなど 学生の健康面への支援体制は あるか	3	・在学中は、毎年、健康診断を実施し、異常のある学生に 対しては、再検診させている。	環境変化にあわせ、診断項目の見直しと健康指導の充実 に努めたい。	
5-4-2 学生の健康管理を担う組織体 制があり、有効に機能してい るか	4	・教育部が、定期健康診断の結果をチェックしカルテ保存。 ・救急(怪我など)には、教育部、事務局が窓口になり対応。 ・学生の体調については終礼で情報共有している。	なし	
5-4-3 学生からの健康相談等に応じる 医師・看護師等がいるか	4	・委託している校医がいて、健康相談等対応している。(非常 駐)	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
学校保健安全法に基づき、毎年定期健康診断を実施し、その結果を管理している。				

【5-5】 課外活動に対する支援体制は整備されているか					
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料	
5-5-1 スポーツ等のクラブ活動、ボラ ンティア活動その他、課外活動 に対する支援体制は整備され、 有効に機能しているか	2	クラブ等の正規のものがないので支援していない。学年から の活動要望があるときは、その都度費用を負担している。ボ ランティア活動は要請があれば有志で参加している。	愛専各連・地区住民・他学校との交流を推進する活動に は支援して行きたい。		
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない					
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)		
学生発信の課外活動等への対応は行われているが、恒常的な活動には至っていない。					

【5-6】 学生寮、学生の生活環境への支援は行われているか					
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料	
5-6-1 遠隔地出身者のための学生寮 等、学生の生活環境への支援 は行われているか	4	・社会のニーズに対応すべく、学生寮のリニューアルを実施。 全室個室化に合わせて、トイレ・浴室の水回り、食堂なども一 新した。 ・留学生は学外に借り上げ寮を整備し、生活支援を図ってい る。	なし		

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
時代の移り変わりに対応し、男子用学生寮をすべて個室に改装し、居室と廊下、トイレについての内装工事が完了。 併せて、食堂と浴室についてもリニューアルし、快適な生活環境を整えることができた。 留学生は学外に借り上げ寮を整備することで、受け入れ態勢が整った。	

【5-7】 保護者と適切に連携しているか	
----------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-7-1 保護者と適切に連携しているか	3	学生の多様化に対応するため、細やかな保護者との連携を維持している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
保護者には、担任から小まめに電話連絡を行い、密な連携をとっている。	

【5-8】 卒業生への支援体制はあるか	
---------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-8-1 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	3	校友会(同窓会)は組織化されていないが、随時同期の仲間が懇親会を開いている。	組織化されていない。	
5-8-2 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	企業の採用担当者から、随時卒業生の現況確認をしている。また、個別の制度は存在しないが、卒業生から相談があれば、随時対応している。(就職先の相談など)	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
校友会(同窓会)の定例活動はなく、随時有志が行動している程度である。 50周年を迎えるにあたり、組織化を早急に進めたい。	

【5-9】 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
---------------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-9-1 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	松山の産業校からの業務委託と言う形で、リカレント生の受け入れを継続している。	将来の学校運営を考えるうえで、社会人向け講座の可能性について検討したい。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
資格取得と連動した課程しか持っていないため、社会人に対する生涯講座のような授業環境にない。 また、就労しつつ資格を取る、夜間のような課程も持っていない。(そうした授業体制が取れない)	社会人が資格取得を目的に退職して入学する時は、教育訓練給付金の対象講座の受講生として対応している。

【5-10】 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	
--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-10-1 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	毎年、数校の高等学校のキャリア教育(職業選択)の一環として、専門学校見学を受けいれている。 高校に出向いての模擬授業も数校、毎年行っている。 更に、近隣の高等学校から生徒を受け入れ、実習場で基礎的な自動車構造授業を行い、キャリア教育に貢献している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
毎年、数校の高等学校のキャリア教育(職業選択)の一環としての専門学校見学を受けいれている。 高校に出向いての模擬授業も行っている。	

【5-11】 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	
--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-11-1 関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	NA	なし		

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
卒業後に同じ資格教育を再度行うプログラムは持たないが、業界のニーズにより検討したい。 しかし、二級整備士を取得した卒業生が、一級整備士取得を目指すために、再入学することは考えられる。	

基準6 教育環境

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
急速に進む自動車の電動化・知能化に対応できるよう、効果的な実習車両の更新や整備機器の導入が計画的に進み、業界に求められる教育に対応できている。	

【6-1】 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	
--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-1-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	カリキュラム対応/新車・新技術に対応できるよう、年々整備・更新している。	なし	
6-1-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	4	定期的な機器点検整備を実施している。	なし	
6-1-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	3	自動車の電動化・知能化に対応できるよう、効果的に実習車両の入れ替えを実施し、販売会社での実務に対応できるよう更新している。	学科棟の耐震化と老朽化対応が課題。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
施設、設備の更新については、補助金や寄付金を活用しながら、教育上の必要性に鑑み、中期計画、年度計画を通じて計画的な更新を行っている。	

【6-2】 学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-2-1 学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	学外研修・インターンシップを実施している。	なし	
6-2-1 学外実習・インターンシップ、海外研修等について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	各々実績を把握し、教育効果を確認している。 (一級のインターンは評価システムがある。その他インターン/学外実習は実施後のレポートで確認を行っている。)	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
教育の一環として、学外研修・インターンシップを実施している。				

【6-3】 防災に関する体制は整備されているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-3-1 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	4	・安全第一で避難することを優先する。防災訓練も実施している。	なし	
6-3-2 災害の起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	4	法令に基づいて適切に運用されている。	なし	
6-3-3 実習時等の事故防止体制は十分か	4	法令に基づいて適切に運用されている。	なし	
6-3-4 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	4	・学生は専門学校協会が窓口となる総合保険に加入 任意の傷害保険も斡旋している。	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
防災に対する体制は整備されている。特に、実習中の事故防止の為に学生指導を怠らないこと。大規模災害に備え、防災訓練を継続的に実施する事を重視して実行している。 寮は防火訓練に重点を置いている。				

基準7 学生の募集と受入れ

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生募集は、年度計画に則り、学生支援室を中心に全職員で活動している。 計画的、効果的な活動により、目標を過達する成果が得られている。	SNSの活用や優秀な外国人材の誘引など、他校にないUSPも功を奏している。

【7-1】 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	
---	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-1-1 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	4	当校を志望すると思われる地域の高等学校には、リクルータが直接訪問し、当校の各種情報を進路担当教員や学生に提供している。 販売会社との協力体制も充実してきた。	なし	

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
当校を志望すると思われる地域の高等学校には、学校のリクルータが直接訪問し、当校の各種情報を進路担当教員や学生に提供している。	出口である販売会社との連携による入学性確保も一定数得られている。

【7-2】 学生募集活動は、適正に行われているか	
--------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-2-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	年度計画を作成し、目標に対する諸活動を明確にしている。	なし	
7-2-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	パンフレットやホームページは5校共通のコンテンツを使用し、毎年改善を図っている。更にオープンキャンパス参加者には模擬授業を行うなど、入学後の姿をイメージできる企画を行っている。	なし	学校案内パンフレット 学校ホームページ
7-2-3 志望者等の問い合わせ・相談に対する体制があるか	4	事務局が、問い合わせ、相談の窓口となり、募集担当に繋いでいる。基本は募集担当が電話やオープンキャンパスで相談に応じている。 国外の留学生にはWebガイダンスや面接試験を実施し、学生の利便性を高めた。	なし	
7-2-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	4	募集グループの尽力により、日本人、留学生ともに大幅に入学が増加し、94名の入学が確保でき、期初の在校生数は200名となった。	新たに迎えた募集人材を加え、効果的な募集活動が功を奏し安定的な入学者を確保することができた。	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生募集は、年度計画に則り、学生支援室を中心に全職員で活動している。 計画的、効果的な活動により、目標を過達する成果が得られている。 SNSの活用や優秀な外国人材の誘引など、他校にないUSPも功を奏している。	18歳人口減少に対応する方策立案が急務である。

【7-3】 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	
--	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-3-1 募集活動において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は、パンフレット、ホームページなどに掲載し正確に伝えている。	なし	学校案内パンフレット 学校ホームページ
7-3-2 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	4	国家試験の合格率や就職率などの実績が評価され、入学につながったことはオープンキャンパス・アンケートなどで把握している。また、販売会社での学校説明会においても、卒業生の活躍紹介が入学に結びついている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学生募集活動において、当校の資格取得、就職状況は、日産校の統一基準に従い、きわめて正確に伝えられている。(学校パンフレット、ホームページなど)	

【7-4】入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-4-1 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4	A0入試、一般選考、推薦選考すべて、判定会議において、基準に基づき公平に合否判定を行っている。 会議においても、判定に迷う場合は、別の試験官による再面接を実施している。	なし	
7-4-2 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	各入試終了後、まとめている。 (出願数、合格数、不合格数、辞退者数等)	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
各種選考に応募する条件も、明確に示されている。 試験自体は、筆記試験、面接試験の評定を基に、公平に選考を行っている。				
【7-5】学納金は妥当なものとなっているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-5-1 学納金は、教育内容、学生及び保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	4	同業他校の情報と比較し、妥当と認識している。	なし	募集要項
7-5-2 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	4	把握している。	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
競合校比較により、妥当と認識している。				

基準8 財務

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
財務状況は、累計の経常収支額も常にプラスの状態であり、健全な財務状況と認識している。 しかしながら、18歳人口の減少による授業料収入減少、施設の老朽化に伴う費用増加が最大の懸念事項である。 一方で、業界の整備士ニーズに対応すべく、外国人人材の確保など、入学生確保に向けた方策を進めている。	

【8-1】 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-1-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3	財務基盤の安定化を図るべく、一級課程学生や外国からの直接入学留学生の確保により、経営の安定化を図る。	一級訴求	
8-1-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	4	財務諸表により、その推移を把握している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
一級課程学生の増加や優秀な留学生確保による、少子化補填など、在校生数の拡大に繋がる方策を継続していく。	

【8-2】 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-2-1 年度予算・中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	4	立案した予算案は寄付行為に定められた方法により承認され実行されるとともに、評価も受けている。年度決算も適切に行われ承認されている。	なし	
8-2-2 予算は計画に従って妥当に執行されているか	4	予算管理体制を構築し、適切に実施している。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
承認された年度計画に基づき、適切に執行されている。 会計事務所の指導に基づき正しく処理されるとともに、その内容を責任者が管理することで計画通りの進捗を得ている。	

【8-3】 財務について会計監査が適正におこなわれているか	
-------------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-3-1 財務について会計監査が適正におこなわれているか	NA	寄附行為に基づき、監事による監査が行われている	なし	
8-3-2 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	NA	寄附行為に基づき、監事による監査が行われている	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
監事による会計監査が寄付行為に基づき実施されている	

【8-4】 財務情報公開の体制整備はできているか	
--------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-4-1 私立学校における財務情報公開の体制整備はできているか	4	適切に実施されている	なし	
8-4-2 私立学校における財務情報公開の形式は考えているか	4	学校HP上で財務3表や財産目録等を公開しており、毎年最新版を掲載している。		

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
適切に実施されている	

基準9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校教育法、道路運送車両法など、関係法令に基づき適切に運営されている。 また、学生の法令順守についても、業界の見本となるべく指導を行っている。 情報のセキュリティや、個人情報保護についても、定期的な指導を欠かさない。 自己点検、自己評価の公開についても、適切に実施されている。	

【9-1】 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

9-1-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	4	・該当する法令は遵守され、適正な運営が図られている。	なし	
9-1-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	・該当する法令は遵守され、適正な運営が図られるべく、啓発活動を計画的に行っている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
各種法令順守を基本に、その啓発活動及び順守状況の把握が図られている。	

【9-2】 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	
----------------------------------	--

点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-2-1 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関して、その保護のための対策が取れているか	4	・統一の教務・学務のシステムでは、適切なアクセス権が設定され、不必要なデータへのアクセスが出来ないようにしている。 ・教職員には、情報セキュリティや、個人情報保護に関する教育を通じ、情報の重要性、扱いの注意を徹底している。		
9-2-2 個人情報に関して、教職員・学生等に関して啓発活動を実施しているか	4	教職員には、「情報セキュリティガイドライン」教育や、「学生個人情報利用目的」教育などで、その保護の対象や重要性を教育している。		

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
日産自動車の指導の下、日産自動車大学校共通の指針に基づき運用されている。インシデント発生時の対応方法も確立しており、事故発生時の影響を最小限に抑える体制が整っている。 個人情報についての管理については利用目的を明確に通知するなど、情報開示を行っている。	個人情報が含まれるデータに関しては、日産情報セキュリティの指針に則り、パスワードの設定や情報ラベリングを実施している。

【9-3】 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	
-----------------------------	--

点検小項目	点検の進み具合	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-3-1 自己点検・自己評価を定期的 に実施し、問題点の改善に努 めているか	3	従来から、年度の振り返り(点検・評価)は行ってきた。	なし	
9-3-2 自己点検・自己評価に関する 方針は確立されているか	4	方針は定められている。	なし	
9-3-3 自己点検・自己評価に関する 方針は関係者に対して正確に 伝わっているか	3	必要な事項の理解が進んでいる	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
自己点検・自己評価の結果、顕在化した課題については、優先順位をつけて必要な手段を講じている。	

【9-4】 自己評価結果を公表しているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-4-1 自己点検・自己評価結果を公表しているか	4	外部に公開している。	なし	
9-4-2 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	4	公開に関する方針は確立されている。	なし	
9-4-3 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	4	公開に関する方針は、教職員など学校内部の関係者には正確に伝わっている。	なし	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
自己点検・自己評価を継続することで、学園の安定的な運営が行われてきた。 自己評価結果や外部評価を正しく認識し、求められる学園として永年継続できるよう努めていく。				

基準10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
地元企業、関係団体に対しては、要望があれば、保有施設・設備の貸し出しや、当校で可能な講座の提供も、行っている。 また、関係する社会問題等に対しては、積極的に学生や、教職員に啓蒙活動を展開している。 ボランティア活動としては、日々の校外清掃に加え、愛媛マラソンボランティア等を実施している。	

【10-1】 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	
--	--

10-1-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	4	・高校：職業教育への支援活動(専門学校見学) EV授業の実施 ・企業：地元企業の新人への初級整備技術教育の実施 地元企業の整備技術大会の人的・物的支援等を行って連携を深めている。 ・愛媛労働基準協会からの委託を受け、一般企業や高等学校を対象に電気自動車取扱特別教育を実施している。	なし	
10-1-2 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	4	地元の企業、団体には、要望があれば、学校の施設・設備を提供している。	なし	
10-1-3 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	4	学校が関係する重要な社会問題に対しては、学生・教職員に対し啓蒙活動を行っている。 (道交法違反。車両の違法改造。個人情報保護。など) メーカーから専門家を招き先進技術に関する特別授業を行う等、高度な整備技術についても意識を高めている。	なし	
10-1-4 学校として重要な社会問題に具体的に取組んでいるか	4	主に自動車に関わる重要な社会問題に対して、学生・教職員で、具体的な取り組みを行っている。	なし	

4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
地元企業、関係団体に対しては、要望があれば、保有施設・設備の貸し出しや、当校で可能な講座の提供も、行っている。 また、関係する社会問題に対しては、積極的に学生や、教職員に啓蒙活動を展開している。 (道交法違反、車両の違法改造、個人情報保護、など)	

【10-2】 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-2-1 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	・学校では、毎日、学校周辺の清掃を行い、専修学校、地区の清掃行事にも参加している。	ボランティアの呼びかけがあれば学生に展開し参加を呼びかけているが、参加者が固定化している。	
10-2-2 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	3	学校、専修学校主催の定期清掃以外の、学生個人のボランティア活動は、把握していない。	学校経由のボランティア参加者は把握しているが、個人参加のボランティアについても把握する仕組みが必要である。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
学校では、地域全体がきれいになるようにと、清掃を通して地元の方との交流を進めている。また、愛媛マラソンボランティア参加など、活動の幅を拡大してきた。				

【10-3】 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか				
点検小項目	評価	ア 現状認識・評価等	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-3-1 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3	公共職業訓練所と連携し、社会人の受け入れを実施した。他業種の新入社員研修受託や、技能実習生研修などを行い、地域への貢献を図った。	告知活動を強化し人数を拡大したい。	
4. 適切 3. ほぼ適切 2. やや不適切 1. 不適切 NA 当てはまらない				
点検中項目総括			特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	
産業校との連携から、リカレント生の受け入れを開始したが、年度により利用者数が不安定であるため見学会参加者を中心に周知を図りたい。				

目次

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

- 【1-1】 理念・目的・育成人材像は定められているか
- 【1-2】 学校における職業教育の特色はなにか
- 【1-3】 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- 【1-4】 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。

基準2 学校運営

- 【2-4】 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 【2-5】 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 【2-6】 運営組織や意思決定機能は、規則等により明確化されているか、また、有効に機能しているか。
- 【2-7】 人事・給与に関する制度は整備されているか
- 【2-8】 教務・財務等の組織整備など、意思決定システムは整備されているか
- 【2-9】 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 【2-10】 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 【2-11】 情報システム化等による業務の効率化が図れているか

基準3 教育活動

- 【3-1】（目標の設定等）教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
- 【3-2】（目標の設定等）教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 【3-3】（教育方法・評価等）学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- 【3-4】（教育方法、評価等）キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか。
- 【3-5】（教育方法、評価等）関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われている
- 【3-6】（教育方法、評価等）関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習棟）が体系的に位置づけられている。
- 【3-7】（授業方法、評価等）授業評価の実施・評価体制はあるか
- 【3-8】（授業方法、評価等）職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 【3-9】（授業方法、評価等）成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 【3-10】（資格試験）資格取得の指導体制、カリキュラムの中の体系的な位置づけはあるか
- 【3-11】（教職員）人材育成目標の達成に向け授業を行なうことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 【3-12】（教職員）関連分野における業界等との連携において、優れた教員（本務・兼務を含む）を確保しているか
- 【3-13】（教職員）関連分野における先端的な知識技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われている。
- 【3-14】（教職員）職員の能力開発のための研修等が行われているか

基準4 教育成果

- 【4-1】就職率の向上が図られているか
- 【4-2】資格取得率の向上が図られているか
- 【4-3】退学率の低減が図られているか
- 【4-4】卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 【4-5】卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

基準5 学生支援

- 【5-1】進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 【5-2】学生相談に関する体制は整備されているか
- 【5-3】学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 【5-4】学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 【5-5】課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 【5-6】学生寮、学生の生活環境への支援は行われているか
- 【5-7】保護者と適切に連携しているか
- 【5-8】卒業生への支援体制はあるか
- 【5-9】社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 【5-10】高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか
- 【5-11】関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか

基準6 教育環境

- 【6-1】施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 【6-2】学外実習・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 【6-3】防災に関する体制は整備されているか

基準7 学生の募集と受入れ

- 【7-1】高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか
- 【7-2】学生募集活動は、適正に行われているか
- 【7-3】学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか
- 【7-4】入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか
- 【7-5】学納金は妥当なものとなっているか

基準8 財務

- 【8-1】中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 【8-2】予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 【8-3】財務について会計監査が適正におこなわれているか
- 【8-4】財務情報公開の体制整備はできているか

基準9 法令等の遵守

- 【9-1】法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 【9-2】個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 【9-3】自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 【9-4】自己評価結果を公表しているか

基準10 社会貢献

- 【10-1】学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 【10-2】学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 【10-3】地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか